

メンテナンスの
ありがとう

今回も「お客様から寄せられた声」の一部を掲載させていただきます。

- 「いつも敏速に対応して頂いて、とても助かっています。」
(マンションオーナー Y様)
- 「いつも北島さんに良くしてもらって感謝しております。また色々とお願ひしたいこともあるので、その時は連絡します。」
(D社 O様)
- 「安心して全て任せられ、土居さんには絶大な信頼をしています。」
(Z社 T社長)

新スタッフ紹介



営業部 伊藤です。



工事部 泉山です。



工事部 源石です。

旅行日記

6月9日・10日の1泊2日で「森長工務店・森栄会合同慰安旅行」を開催いたしました。社員や森栄会メンバーの強い要望もあり、5年振り（前回、平成19年）となる慰安旅行が実現し、親睦を深めることが出来ました。当初は2月に計画をしていましたが、大雪の影響で中止となり、5年振りの慰安旅行も出来ないかと心配しておりましたが、6月の梅雨の合間に慰安旅行への運びとなりました。今回は、旅好きという経理女子の永田さんの旅行日記を掲載しました。



六月九日、十日、石川県南部の山中温泉へ行きました。まずは、芝政ワールドへ。大阪は晴れたので、現地は生憎の雨模様。予定していたパタゴニアの自動車博物館へは、日本自動車博物館への変更になりました。各国の自動車を見学し、真鍮製の金紋酒造は、清酒の製造方法に興味を持ちました。試飲もほろ酔い気分で、酔いもさめないままに旅館へ到着。



旅館では温泉を満喫し、宴会が終り夜が更けても二次会がウラオケへ繰り出していました。翌日は、地引網体験や黒壁スクエアでの散策を各自楽しめました。森栄会の皆様も弊社社員も、和気あいあいとした雰囲気の中、二日間の旅行が終了しました。より良い関係を築く為の森栄会ですが、このような良好な関係が今後も続けばいいなと思います。合同旅行でした。

永田恵理

森栄会の皆様の声

- 「皆さんといろいろ話ができて、夜の宴会が一番楽しかった。」
松本工業(株) 近越様 談
- 「宴会のあとで社員の皆さんと一緒に、カラオケで歌ったことが一番良かったです。社員の方々は日ごろ話す機会がないので、意外な面なども知ることができ、楽しかったです。」
富士鋼材(株) 辻本様 談
- 「全体的におもしろかったし、まとまりがあつてよかった。地引網も面白かったし、自動車博物館もよかった。楽しい思い出です。また、旅行に行きたいです。」
濱平建設(株) 濱平様 談

イベント情報

- 11月1日 創立66周年記念式典
- 11月15日 安全研修会
- 12月1日 森長工務店・森栄会合同忘年会

Hello Baby

工事部 大田主任に
第二子誕生のお知らせ

幌(ほろ)くんをよろしく!!



目次

- 巻頭メッセージ P.1
- インタビュー P.2
- 竣工日よりお客様訪問 P.3
- 旅行日記・イベントその他 P.4



りんかいぞくもつてきよなして 鱗介の族は水を以て虚と為して

じつ
水の実たるを知らず。

〔現代語訳〕水に棲む魚は、水の存在が当たり前すぎて、水のお蔭で生きて居ることが分からない。(佐藤一斎)

江戸時代の儒学者、佐藤一斎が著した言志録は当時の武士階級に大きな影響を与えました。西郷隆盛もその一人で、二度の島流しに遭った時も、この言志録を携えて愛読していたそうですから、明治維新にも大きな影響を与えていたと言えるでしょう。

冒頭の言葉も実に示唆に富んでいます。もちろんこれは象徴として魚を持ち出しているのですが、我々が日頃からお世話になっている多くのものに対して『お蔭さま』を知らずに生きていることを比喩しているのです。

チベットに行った時のこと。チベット高原は4000mの標高があり空気は地上の半分しかありません。飛行機でチベットの首都ラサに降り立った瞬間から息苦しさを覚えました。そして、夜に入るともういけません。まったく食欲は無くなるし激しい頭痛に悩まされる。そんな症状がなくなるまで、数日を要しましたが、空気というものは何と有難いかと思ったものです。まさに日頃私たちは「水を以て虚と為す」のごとく、「空気を以て虚と為して」生活していることを痛感させられたわけです。

空気の有難味となると、こんな経験でもしなければ、分かる機会はないのでしょうか、もっと当たり前で世話になっているものの有難味も私たちはついつい忘れていたり、気付かずに暮らしているのではないのでしょうか。家族、会社、社会、国家などの自分が属して

いる集団。親や先祖のこと。仕事や仲間、友人。それらに自分がどれほどお世話になっていることか。それらを無くして、初めてその有難味が分かるというのでは、ずいぶん粗末な人生になってしまふように思うのです。人の成長や成熟の尺度はいろいろあるでしょうが、人間的成長を量るもっとも大事な尺度は、自分がお世話になっているものにどれほど気付くことができるかだと思います。そんなことに少しも気付かずに、自分の力で生きていると思っている人はお目出度いといえませんがありません。そればかりか、その人は感謝するという幸福も得ることはできないし、自分の責任や使命に気付くチャンスもけって来ないだろうと思います。

人生はこのような気付きによって、その深みを増していくのだと思います。同時に、責任や使命が自覚され、自己価値が高まり、その人の人生が有意義で幸せなものになっていくのです。当社の理念「『ありがとう』の溢れる会社を創ろう」の『ありがとう』には、そんな意味が含まれていることを、みんなで確かめ合って、「虚と為して」いる魚ではなく、「実たるを知る」人間として生きていきたいものです。

代表取締役 森長 敬



チベット高原

編集後記

Morinaga Press 第4号編集にあたり、ご協力ならびにご支援いただきました皆様へ感謝申し上げます。また、前号発行の折に多数の感想やお便りを寄せていただきました皆様には、あらためて感謝申し上げます。さて、今号の森本さんと小門さんとのインタビューでは、紙面に限りもあり掲載できなかった内容が沢山ありました。中でも、見積時の協力業者さんたちへの感謝の言葉です。「いつもいつも、ご協力いただき本当に感謝している」とお二方ともおっしゃっておられたこと、この場を借りてお伝えしたいと思います。(編集担当)

水の実たるを知らず

お客様訪問



大丸タクシー株式会社
代表取締役
秋山 泰男 様

森長さんとのご縁は、大阪教育大付属天王寺中学・高校の頃、ご次男の英二さんとサッカーを通しての交流から始まっています。その後のことですが私が大阪青年会議所に平成五年に入会しましたとき、先輩の森長さんがおられて、ちょうどJFCにサッカークラブを創設することになり、私も同じくそのときのメンバーでした。一緒に全国

大会・熊本大会にも参加しましたね。そして森長さんがスポンサーシップ推進会議の議長をされている時に、メンバーにいられたいた頃からは、親睦が深まりました。スポンサーシップ推進会議は、有力企業や公共団体などに色々なイベントなどのスポンサーになっていただくよう陳情にいたり、このときに立ちあがったセイブザチル

ドレンなどの活動の協賛依頼など一生懸命な活動を通して、なお森長さんを知ることができました。そのようなご縁から、平成七年に本社ビル現在の住之江営業所を建てていただき、今年には立体駐車場建設でお世話になりました。昔からのご縁から、また今回の件でより一層のご縁が深まったように思います。



大丸タクシー立体駐車場
(大阪市住之江区)

守口浄水場の中での薬品注入施設の建築だ。施工範囲はスロープ造成地盤もあり、土木と建築のスペシャリストとして有末所長の登場である。現場は、既存の図面と現況が異なっていたことや、予期せぬ地中埋設物に大変苦労したと有末所長は語る。平屋建てだが階高は非常に高く、コンクリートの打設方法など、ひと工夫ふた工夫があったという。

薬品注入施設：……浄水過程で液体中の微小な細菌や混入物を取り除くための機械設備が配置される中間施設のこと

竣工だより

薬品注入施設建設工事
設計者：守口市水道部施設課
日本場下水道設計構
完成日：2012年3月



名神通商株式会社 大阪営業所新築工事
(六月完成) 設計施工：森森長工務店
構造規模：鉄骨造・二階建



摂南大学豊川学舎十二号館北側自転車置場等設置工事(九月完成)
構造規模：自転車一六六四台収容

前回の奨励賞から更にランクアップさせ、本賞を受賞すべく、経営品質チーム(社長以下12名)が通常の業務終了後、週1回のペースで会議を開催し、疲れた体に鞭打って夜遅くまで議論を展開しております。9月末に申請書を提出し、12月には現地審査を受け、翌年1月に結果発表というスケジュールです。次号の「MORINAGA PRESS」にて良い結果をご報告できるよう、チームを含め社員みんなで頑張っております。



平成二十三年川西市立多田中学校北校舎機及び屋内運動場補修工事(三月完成)
設計者：森三建構造
構造規模：鉄筋コンクリート・四階建



大丸タクシー立体駐車場新築工事(八月完成)
設計施工：森森長工務店
構造規模：鉄骨造・七八㎡

注目記事

関西経営品質賞に向けて再申請!

「MORINAGA PRESS」創刊号注目記事でお伝え致しました2010年度関西経営品質賞・奨励賞を受賞して以後、2年間が経過しました。その間も「良い経営を目指して自己革新すること」を目指し、経営品質の向上を進めておりますが、今年度において更なる上位目標に向け、関西経営品質賞に再申請を行うことになりました。

— 四年前のエピソードとは？

(小門) 牧の台小学校でのこと。川西市さんの仕事は初めてだから「最初が肝心だ」という意気込みをもって現場管理に取り組んでいたと聞ききました。毅然とした業務を心がけていたと聞きました。きつちりと提出すべき書類をそうするべき時に出すことや担当者への正確な報連相などです。

(森本) 入札も気合がはいった入札でしたね。しよっぱなの牧の台小学校は最低価格が決まっていたけど落札推定価格よりも低く入れたんですよね。どこの業者さんもしないと思つてチャレンジしたんですよ。

(小門) すごく思い切りましたね。(森本) ハハハ(笑) ただ工期も早く終わって評判も良かったです。そういう意味ではその時から当社に対しての期待は大きかったと思います。

— 森本さんは最近の嬉しい出来事などはいかがですか？

(森本) これという出来事ではないのですがどのような時であれ、自分も営業も苦労して仕事を受注させていたいただけたら嬉しいですね。なおかつ、お客様から喜んでもらえたら更に嬉しいですね。

(小門) 森長工務店の社員としてそういう気持ちには僕達も同じなんです。部署関係なく気持ちはみんな一緒だと思います。



同じ気持ちで

設計積算部
森本清吾



設計積算部
小門泰治



— 今回は設計積算部のお二人にご登場いただきました。早速ですが、年間の積算数は何件ぐらいですか？
(森本) 二〇一〇年が一一八件で二〇一一年が一〇八件です。内容は概算も詳細積算も含んでいます。
— 今年は何？
(森本) 今年度も今のペースでいくと年間一〇〇件近くになりそうです。
— かなりの件数ですね。ちなみに最近の工事の種類はどんな傾向でしょうか？
(小門) 官公庁の耐震改修工事は比較的多いですね。

(森本) また民間工事は何が多いかという賃貸マンションですね。他ではたまに高齢者介護施設とかですね。その他、保育園も何件かありましたがここへきて受注に結びついてきたかな？それまでにもありましたかなかなか受注が難しくかった。

(小門) たしかに今年はマンション系と保育園系が増えてきましたね。

(森本) 増えてきたね。その反面、工場系の案件が少なくなってきたね。

— なるほど。話は変わりますが積算業務の中での苦しさや葛藤はどのようなものでしょうか？

(小門) 苦しさといえは、やはり受注に結び付かないときですね。それが続いていたら尚のこと。ちょっとこの間は、新築民間マン

— ションの見積もりを担当させてもらって積算そのもの以外に、検討課題も多くて、いろいろと考えて分析したり、提案のような内容もあったりで、やりがいがありました。こういう仕事をしたいたと改めて思いました。

(森本) やはり、機械的な作業よりも考える作業のほうが充実してるんだらうね。

(小門) そうです。機械的な作業のときは、僕ら二人はあたかも「見積もりマシン」のようになります。

(苦笑) 民間のマンションなどの競争案件で、お客様の求める予算に近づけよう検討するときなどは、いろいろ考えが練れることで自分たちの知恵が活かされてきますからね。

— 最近の出来事で嬉しかったことなどお聞かせください。

(小門) そうですね。長い話になりませんが、川西市発注の多田中学校耐震工事の入札の結果、落札候補となり市役所に出向いてヒアリングを受けたときのことです。担当の方が「森長さんにはくれぐれも丁寧に対応するようにと上司から言われています。」ということから始まり、本間に丁寧に対応して下さった。それがまず不思議ですね。

— はい。それで？

(小門) なぜそのように丁寧に扱ってくださるかが不思議だったので、会社に戻ってから工務部の方々にいろいろと聞きました。四年前に初めて川西市さんの仕事をさせてもらった時のエピソードや前回、高評価を受けた加茂小学校耐震工事のことなどを聞いたんですね。実績などが全て積み重なっているんだな・・・としみじみ感じました。